

# 令和6年度 総合教育会議 議事録（要点筆記）

■日時：令和6年9月25日（水）15：30～17：00

■場所：日向市役所本庁2階 災害対策本部室

## I. 会議出席者

### ■総合教育会議委員

＜日向市長＞西村 賢      ＜教育長＞今村 卓也

＜教育委員＞垣内 正俊、是澤 利保、黒木 智美、児玉 広美

### ■事務局

＜教育委員会＞堀田教育部長      （教育総務課）大平課長、三窪係長      （学校教育課）若杉課長

＜総合政策部＞濱田総合政策部長（総合政策課）麻田課長、黒本課長補佐、野村主任主事

### ■傍聴者・報道機関（1名）

## II. 配布資料

会次第

資料1 日向市総合教育会議設置要綱

資料2 日向市総合教育会議（協議資料）

資料3 第3向日向市総合計画（案）について

※資料はすべて事前配布。

## III. 会議内容

1. 開 会（省略）

2. 市長あいさつ（省略）

3. 協議事項

（1）日向市教育大綱の改訂について

（2）第3向日向市総合計画の策定について

（3）その他

## IV. 協議事項の主な内容

### (1) 日向市教育大綱の改訂について

(事務局)

資料2～資料5に基づき説明。

(市長)

- 教育大綱は本市の教育に対する基本理念と基本方針を定めたもので、中長期的な視点を持った内容となる。委員の皆様から質疑、意見等を頂きたい。

(教育委員)

- 計画期間中の教育大綱について、必要に応じて見直しとあるがどういった場合を想定しているか。

(事務局)

- 毎年度見直しを行うといったことではなく、社会情勢の急激な変化があった場合を想定している。

(教育長)

- 現行の教育大綱について、4つの基本方針から構成されているが、総合計画との関連について改めて説明いただきたい。

(事務局)

- 教育大綱については、総合計画の教育分野と整合性を図りながら構成している。教育大綱の改訂についても、現在策定を進めている第3向日向市総合計画の教育分野と整合性を図り、改訂したいと考えている。

(教育委員)

- 総合計画の説明の中で、「共創」や「共に創る」といった言葉があり、学校、家庭、地域が連携しながらたくましい人づくりを進めることや伝統文化やスポーツに親しむことで子どもの心の豊かさに繋がっていくことなど、教育行政と合致していると感じた。教育大綱の改訂にあたっては、これまで日向市が進めてきたものをより一層推進していくと良いのではと感じた。

(教育委員)

- 日向市の強みは三位一体の教育の推進だと考えている。特にキャリア教育の推進やコミュニティスクールの部分が今後も重要になると思っている。キャリア教育支援員として児童生徒に話す機会があるが、先生とは違う外部の人間が話す言葉は、子どもたちへの伝わり方が違うのではないかと考えており、先生方にとってもプラスになると感じている。
- これから、先生方の負担軽減をするためにもICT推進、DX推進に取り組み、生徒に向き合う時間を増やしてほしいと思う。

(教育委員)

- 細島地区では小学校と公民館の複合施設があることで、地域と学校が一緒になってまちづくりに取り組んでおり、とても良い雰囲気を感じる。細島地区以外の地域でも取り組むことで良い雰囲気をつくる事が出来ればと感じている。

(教育委員)

- これまで学校教育を支えてくれていた地域やPTA、子ども会といった組織の人数が少なくなっており、地域の教育力を高める仕組み作り、教育力の土台作りが必要ではないかと感じている。

(教育長)

- 教育大綱に掲げる理念に沿ってしっかり施策を進めていくことが重要だと捉えている。人づくりがまちづくりに繋がっていく中、子どもだけでなく親、高齢者の方とも一緒に学んでいくことが大事だと

思っている。

- 地域との繋がりやキャリア教育について、デジタルだけではない人と人との繋がりや支え合う仕組みを作らなければいけないと感じている。三位一体の教育に取り組む中、一朝一夕に答えが出るものではないかもしれないが、継続して取り組んでいくことの重要性を感じており、そういったことを反映した教育大綱にしていきたいと考えている。

## (2) 第3次日向市総合計画の策定について

(事務局)

資料2、資料3に基づき説明。

(教育委員)

- 高校生アンケートの中で、「将来日向市に住みたいか」という設問がある。なぜ住みたくないのかといった理由はわかるか。

(事務局)

- 「将来日向市に住みたいか」という質問への回答は、「住みたい」が21.6%、「住む予定はない」が35.8%、「分からない」が最も多く42.6%となった。なぜ住みたくないのか、といったことは個別に伺っていないが、「住みたい」と回答された中で最も多かったのが「人とのつながりがあるから」が73.8%という結果となった。

(教育委員)

- まちづくりの重点戦略として、「安心して子どもを産み育てられるまちをつくる」とあるが、一番は保健医療ではないかと思う。また、子どもを安心して預けられる場所の確保や保育施設、先生の確保といったことも必要だと感じる。先ほどの高校生アンケートの中に「人とのつながり」が大きな理由になっていたと思うが、信頼できる人との繋がりを作っていくことで安全安心なまちづくりに繋がってくるのではないかと感じた。

(教育委員)

- 子育てと仕事の両立支援の充実について、家庭環境への支援、家庭と子どもの向き合い方を支援することが必要かと思う。

(教育委員)

- 生まれる子どもが少ない中、病院を増やすというのも難しいと思うが日向市には産婦人科が1つしかない。区に加入し、地域が一緒になって子どもを育てていくといったことが保護者の負担軽減に繋がるのではないかと思う。

(教育委員)

- 「安心して子どもを産み育てられるまちをつくる」は大切な視点だと感じた。また、病院などのハード面も必要だと思うが、資料にあるように切れ目のない支援、ソフト面での支援が充実していくと良いと思う。DXの活用についても、現在教育委員会で進めている個別最適な学びという部分を一層推進していけると良いのではないかと感じた。

(教育長)

- 選ばれるまちになるためには、選ばれる学校になるようにしないといけないと思う。個人主義的な価値観を持つ方も増えていく中、どのようにして安心して子どもを産み育てていくのかといったことを考えていく必要がある。

### (3) その他

(市長)

- ここで、教育委員の皆様が日頃から感じている教育や子育ての課題についてご意見を頂きたい。

(教育委員)

- 放課後児童クラブの指導員の確保が難しい状況にある。特に中山間地の場合は高齢の指導員の方が多く、体力的な負担が大きく、地域の力を借りなければ対応が難しい状況にある。まちづくり協議会といった組織を作っていくのと同時に、それを取り仕切るようなコーディネーターのような方の存在が非常に大きいと感じている。

(教育委員)

- 高校進学時に約2、3割の学生が市外に出て行ってしまうというのが課題だと感じている。そのために、小学校の頃から高校のことを意識してもらうような取組、日向市への愛着や誇りを高めていくことができれば将来に繋がっていくのではないかと感じている。

(教育委員)

- 昨年度、まちづくりワークショップで市内の高校生と話す機会があったが色々なことを考えていることを知った。また、意見交換をする中で、日向市の教育大綱に基づく施策をもっと地域に知ってもらうことで良くなっていくのではないかと感じた。

(教育委員)

- 資料にある人口推計や地域別推計を見た時に、将来的に人口が半分になる地域もある。そういった中で安心安全に学ぶ環境を子どもに整えるため、学校再編については前向きに進めてもらいたいと思う。
- こどもファーストについて、給食費無償化にも取り組んでもらっているが、もっと継続的な取組についても進めて行ってもらいたい。

(教育長)

- 日向市でも三位一体の改革に少しずつ取り組んできたところだが、様々なものが求められる中、子どもに向き合っていき、きちんとした関係を日々築いていくことが大事だと思う。4つの方針に基づいてみんなと繋がりあい学び合うことが大事で、やるべきことをきちんと積み上げながら進めていきたい。

(市長)

- 本日資料の中で説明したことや委員の皆様からご意見を頂いたように、DXの導入や家庭環境の変化などに加え、ひとり親家庭が抱える課題などを捉えながら今後の計画を策定していかなければいけない。総合計画や教育大綱の改訂を行う中で、教育委員の皆様のお力をお借りしながら策定作業を進めていきたいと考えており、今後も引き続き、意見交換を行っていきたい。

<会議終了>